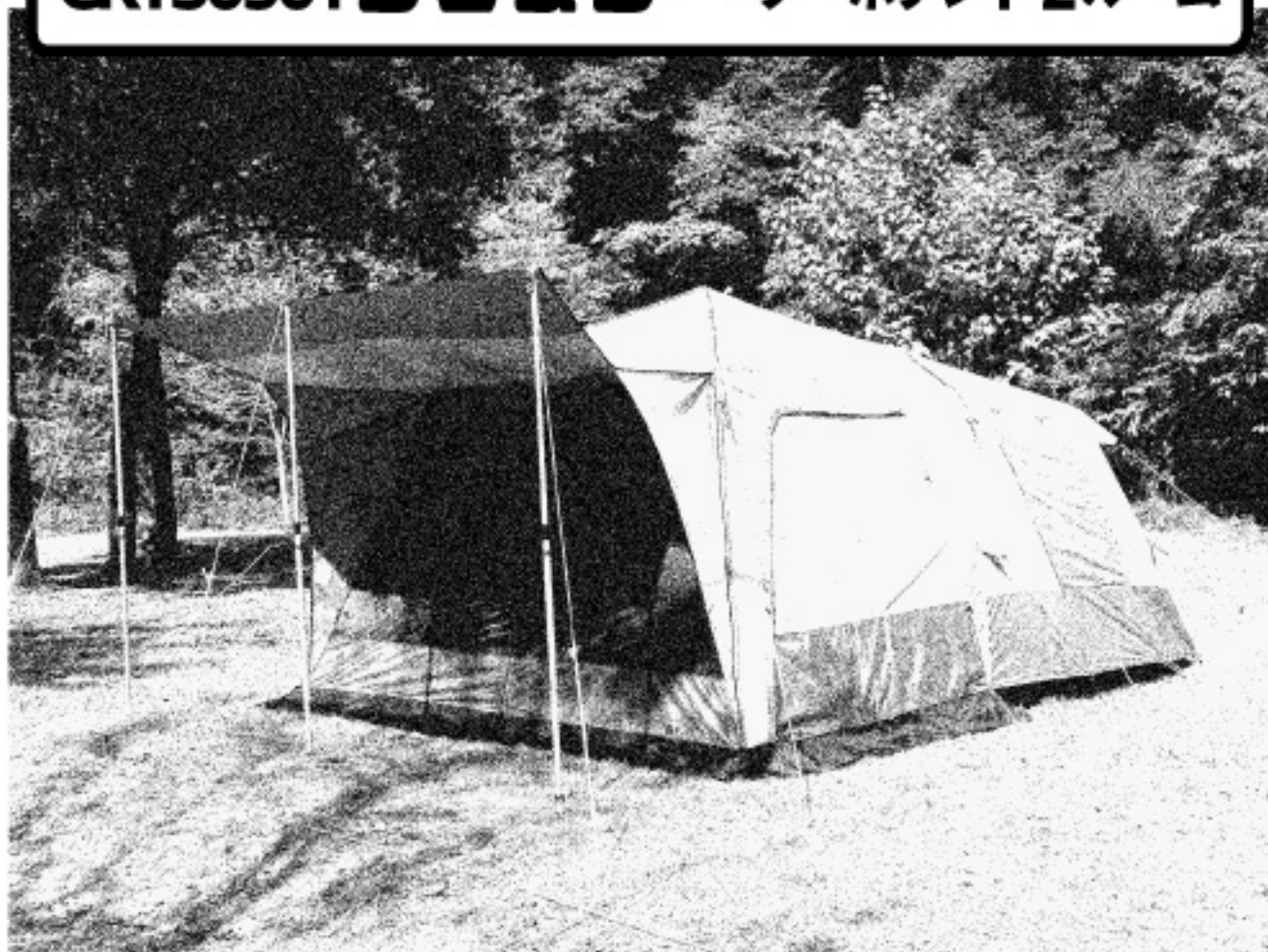




CR130901 クロスターターポテント2ルーム



組み立て説明書

大きなテントですのでキャンプサイトでは他のお客様の迷惑や事故にならない様、お気をつけて設営してください。

1 付属品の確認

フライシート

インナーテント
(フレーム付き)

前室用床布

インナー仕切り

収納バッグ

付属品の確認

ピンベグ×17本



ハンマー×1本



底ポール用張り綱×3本

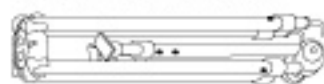


本体用張り綱×6本
(フライシートに装着済)

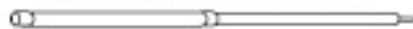
前室連結屋根ポール



前室用ポール (アルミ組立式)

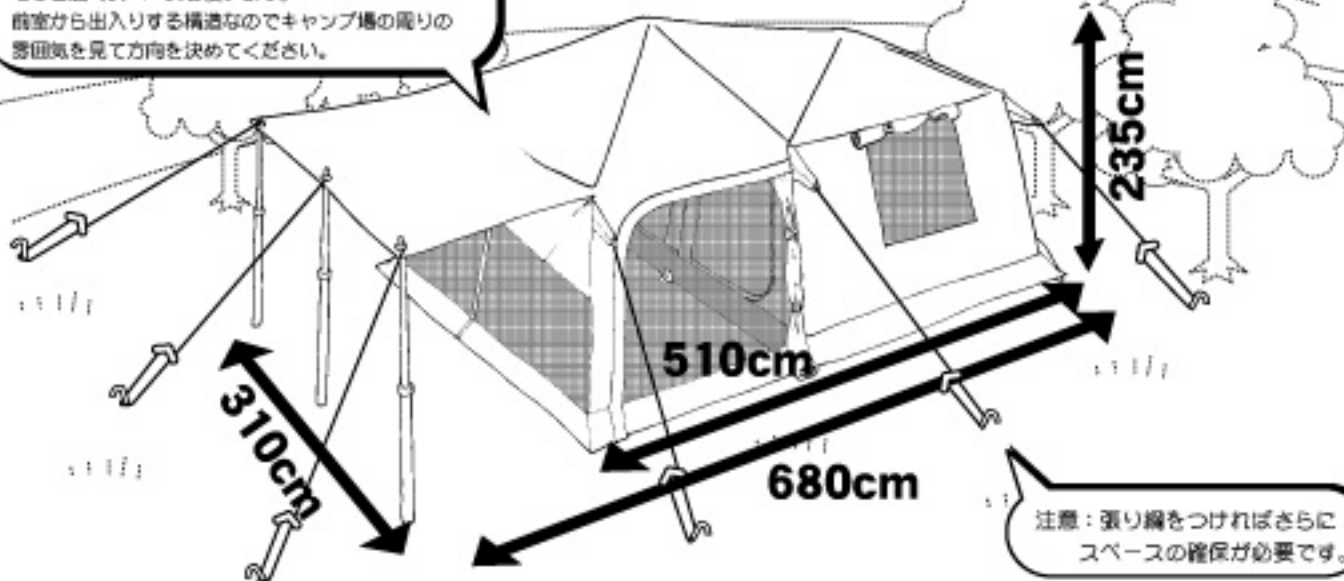


底ポール (アルミ伸縮タイプ) ×3本



2 大型テントなのでキャンプサイトを確認しましょう

テントスペースは最低限、幅310cm奥行き510cmの確保が必要です。さらに広さを広げたり張り綱をすればもっと広くスペースを使います。前室から出入りする構造なのでキャンプ場の周りの雰囲気を見て方向を決めてください。

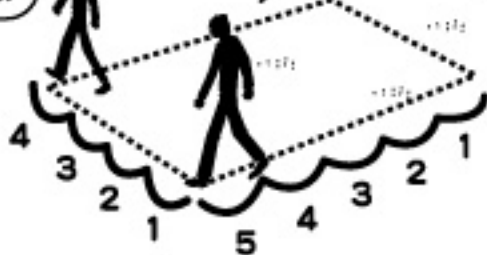


自分なりの寸法を把握しておく
と野外活動の際、便利です。



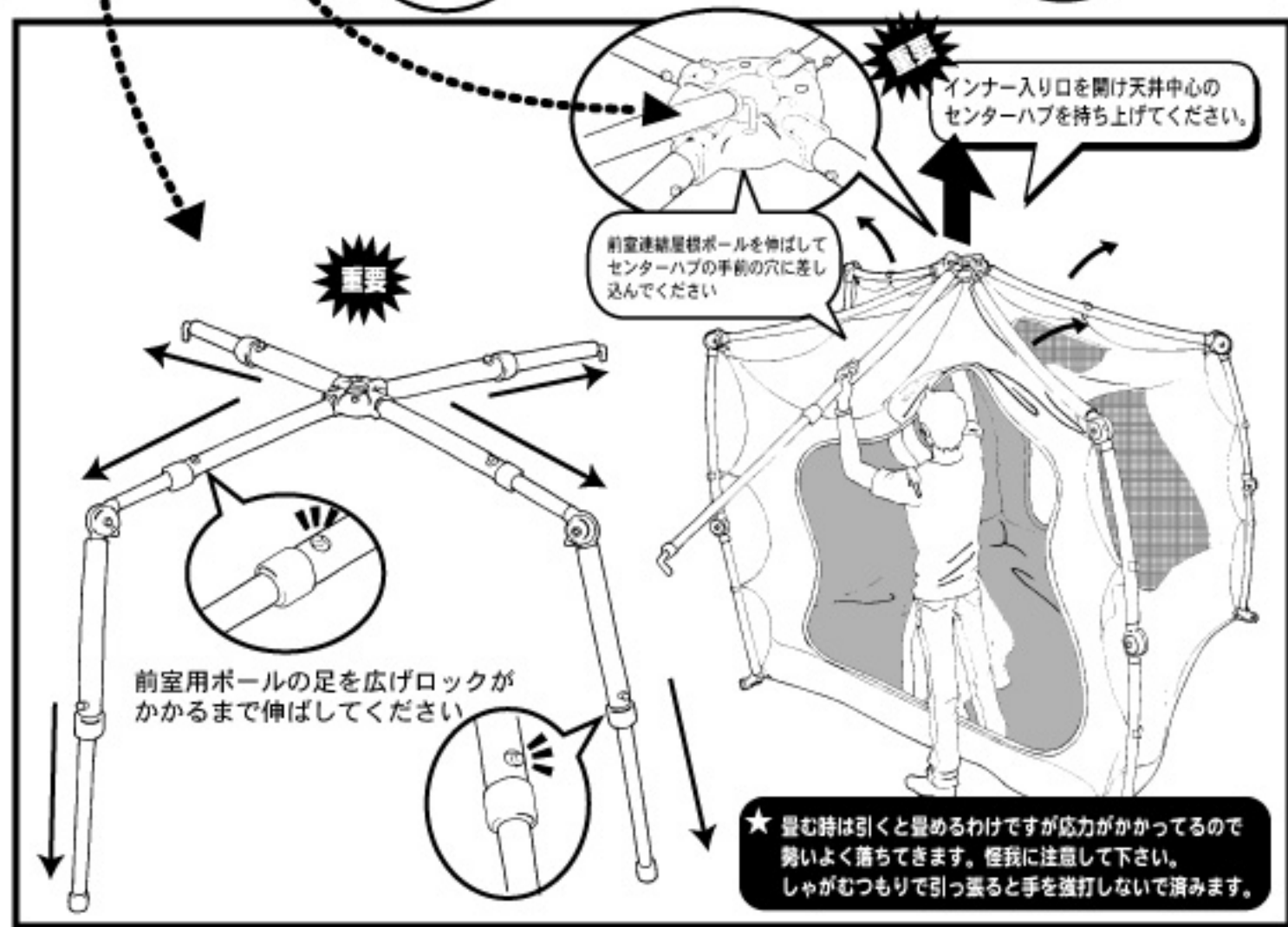
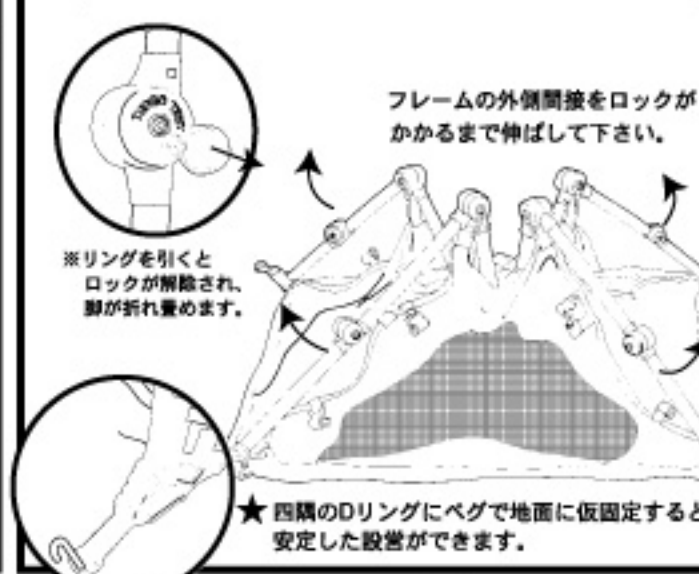
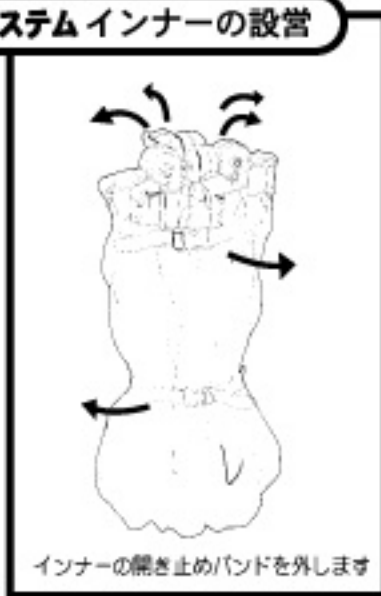
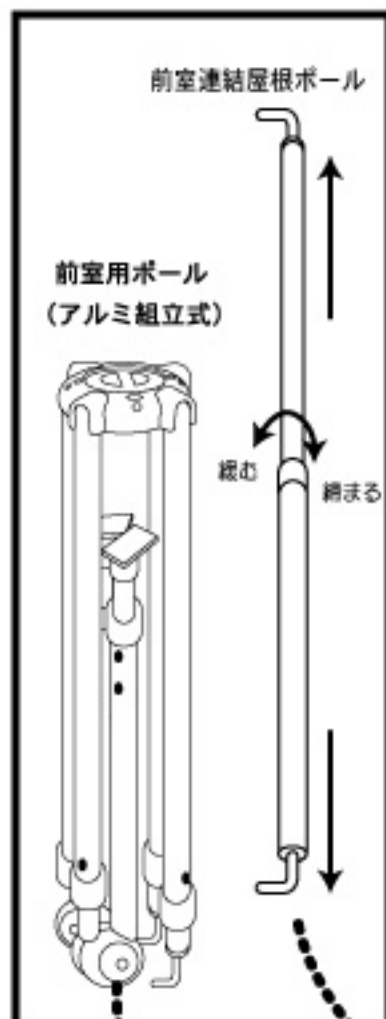
240cm

300cm

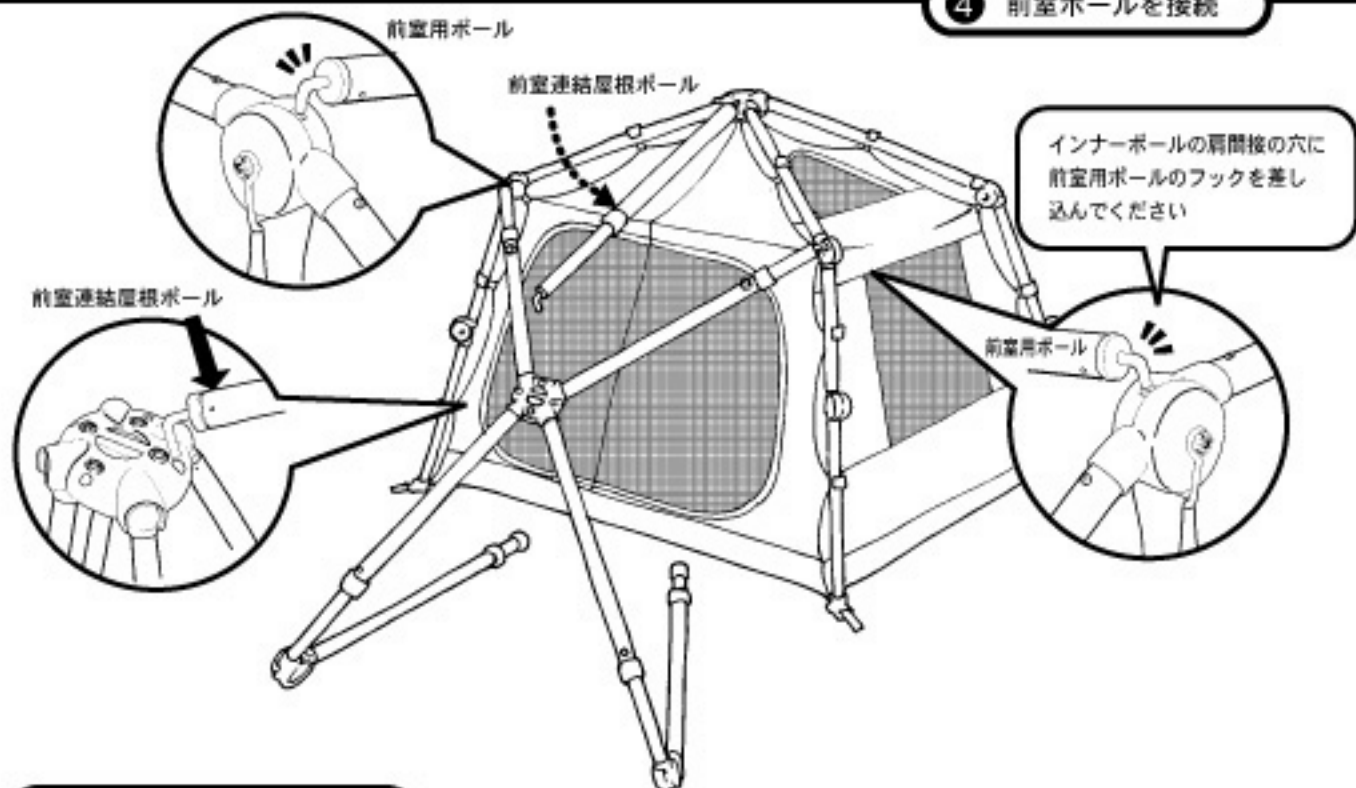


キャンプサイトの確保に便利です。

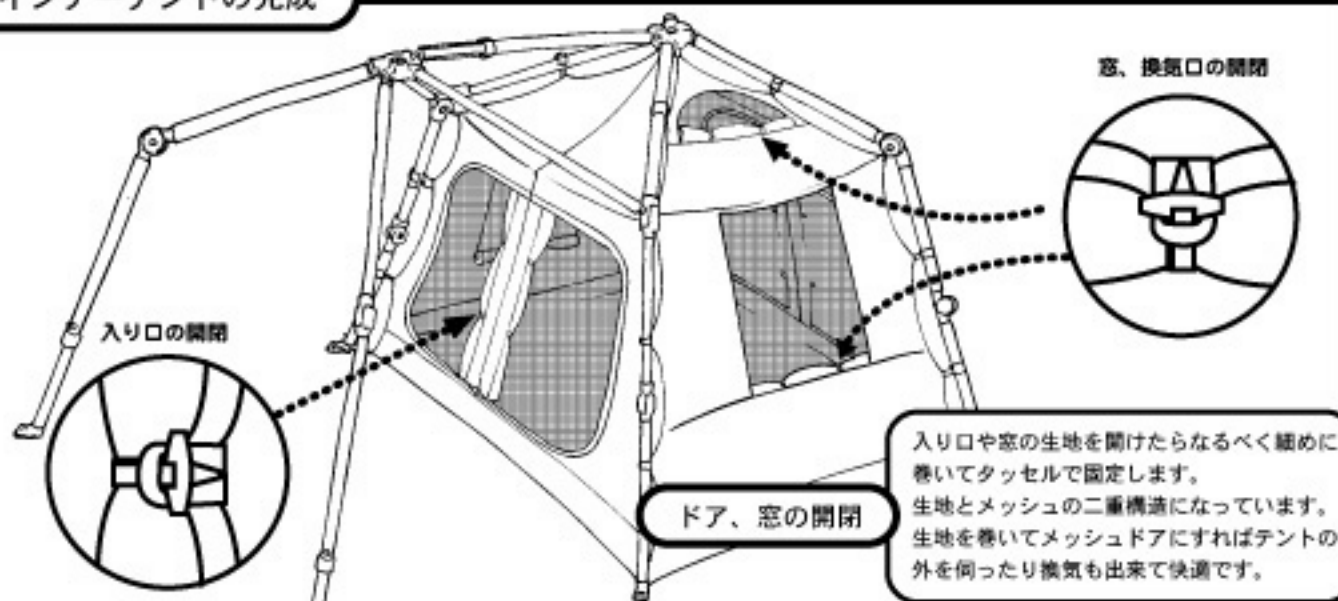
③ ターポテントシステム インナーの設営



4 前室ポールを接続



インナーテントの完成



ちょこっとポイント2

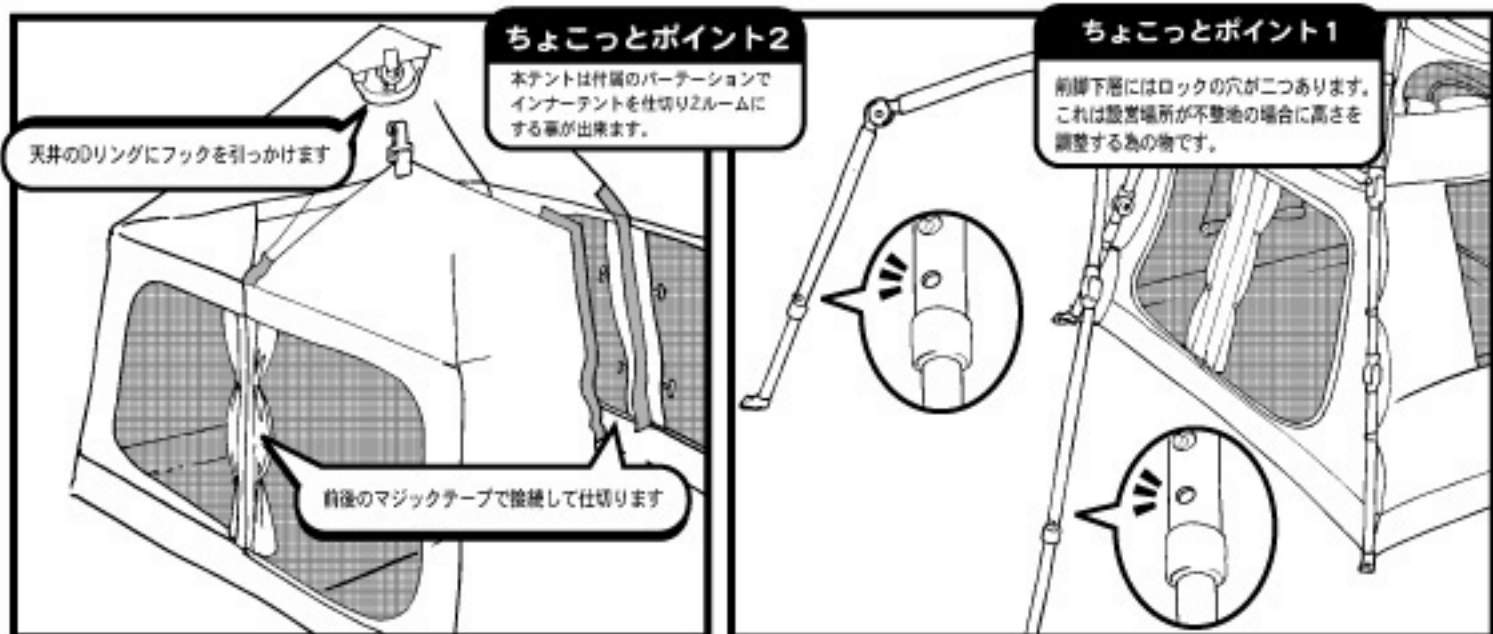
本テントは付属のパーテーションでインナーテントを仕切り2ルームにする事が出来ます。

天井のOリングにフックを引っかけます

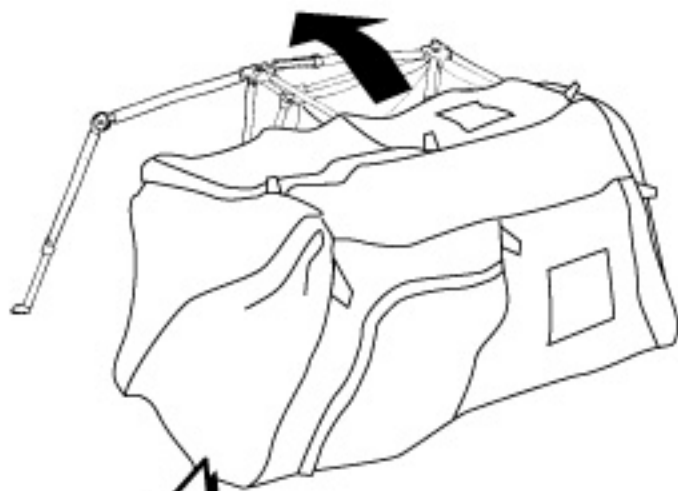
前後のマジックテープで接続して仕切ります

ちょこっとポイント1

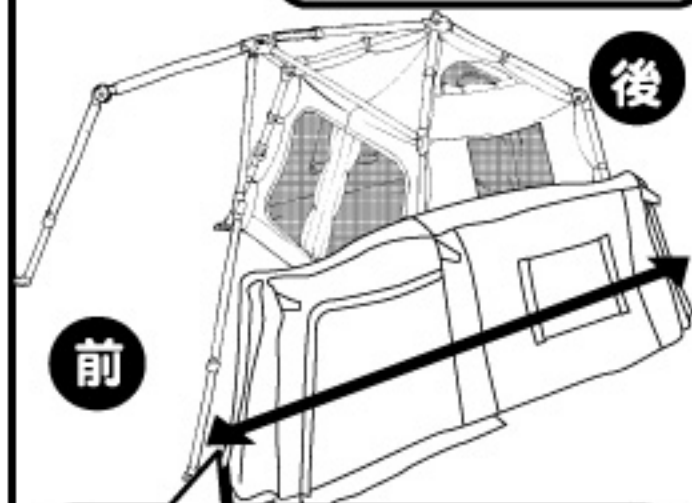
前部下層にはロックの穴が二つあります。これは設置場所が不平整の場合に高さを調整する為の物です。



5 フライシートを被せます



フライシートを広げ、前後の確認をして下さい。



横に広げインナーテントに乗せて広げていきます。

インナーテントのフレームに合わせてフライシートの角を合わせます。

屋根の角

生地と脚フレームにそって

ちょこっとポイント3

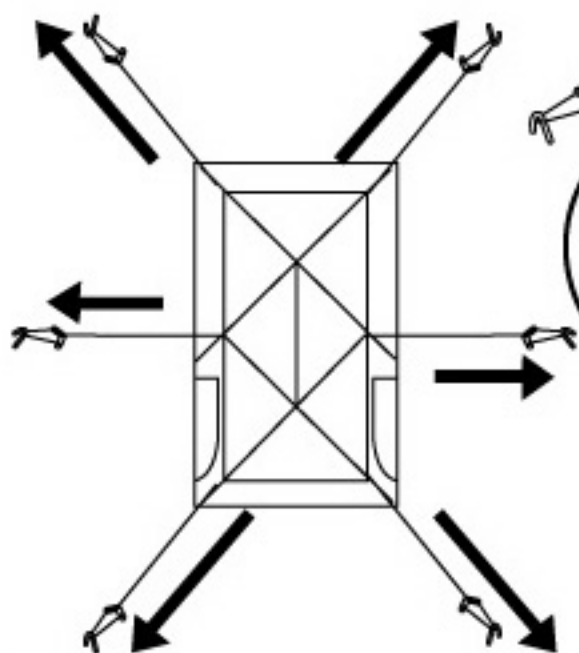
隙間を無くし縫製線とフレームを合わせる事で本来の設営強度になり、長時間、長期間の使用に耐えるテントにするコツです。

裾に付いているゴム輪をベグで地面に引っ張り固定する事でテントを地面に押さえつけます。窓、入り口の開閉をスムーズにし、強風等に耐える為なのでベグダウンは行ってください。

ベグは地面に対して45度の角度で打ち込みます



フレームに沿ってロープを張り出します



6 ロープダウンの勧め

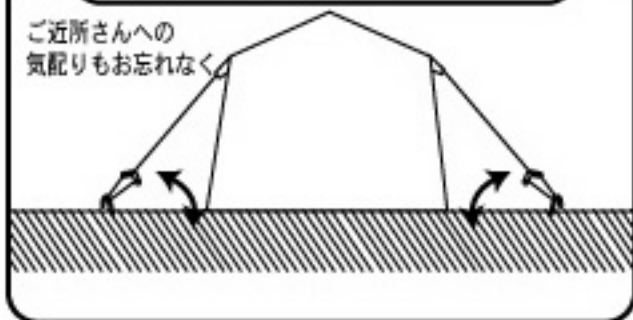
両先のコーナーにある張り編入れからロープを出し、ペグダウンします。



さらに設置状態を強化するにはロープダウンをします。前の庇を広げたりするにはこの処置をあらかじめしておく事をお勧めします。ロープ設置後は夜間の視認性が悪いのでテントの周りを歩く際は注意してください。脚を引っ掛けて転ぶと思わぬ怪我の元です。

ペグは地面に対して45度の角度で打ち込みます

ご近所さんへの気配りもお忘れなく



ロープの調整 (自在の使い方)



リリース状態

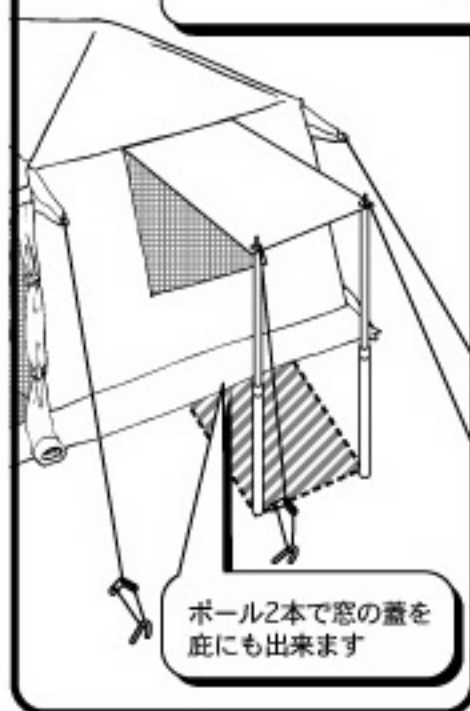


ロック状態

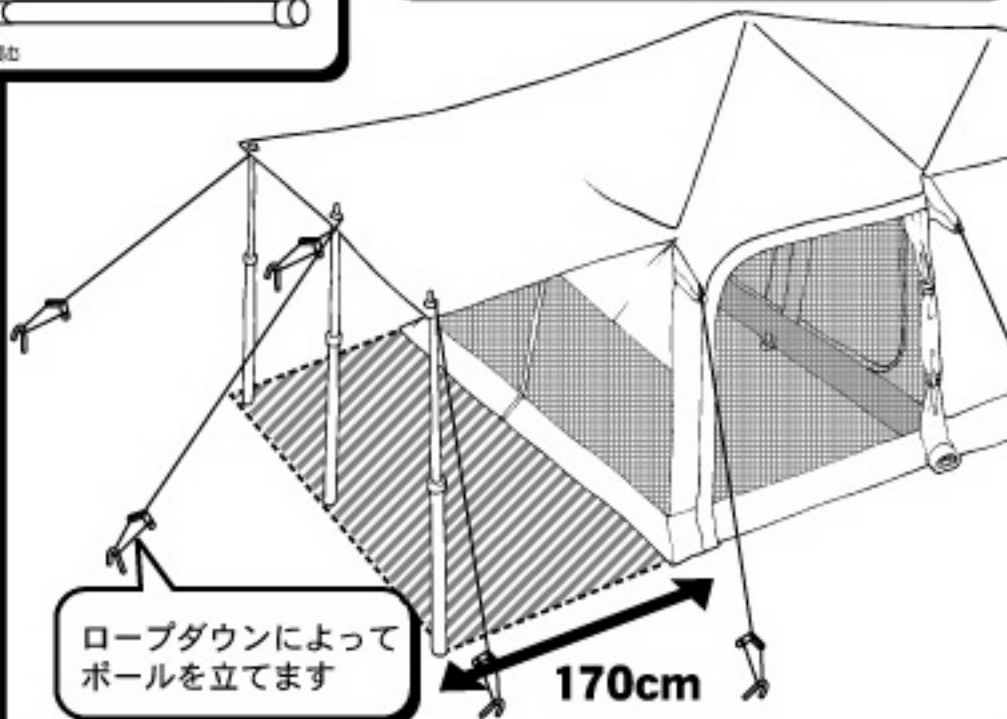
庇ポール (アルミ伸縮タイプ) ×3本



7 付属のポールで前室のカバーを立ち上げると170cmの庇が広がります。



ポール2本で窓の蓋を庇にも出来ます



ロープダウンによってポールを立てます

170cm

立ち上がっている

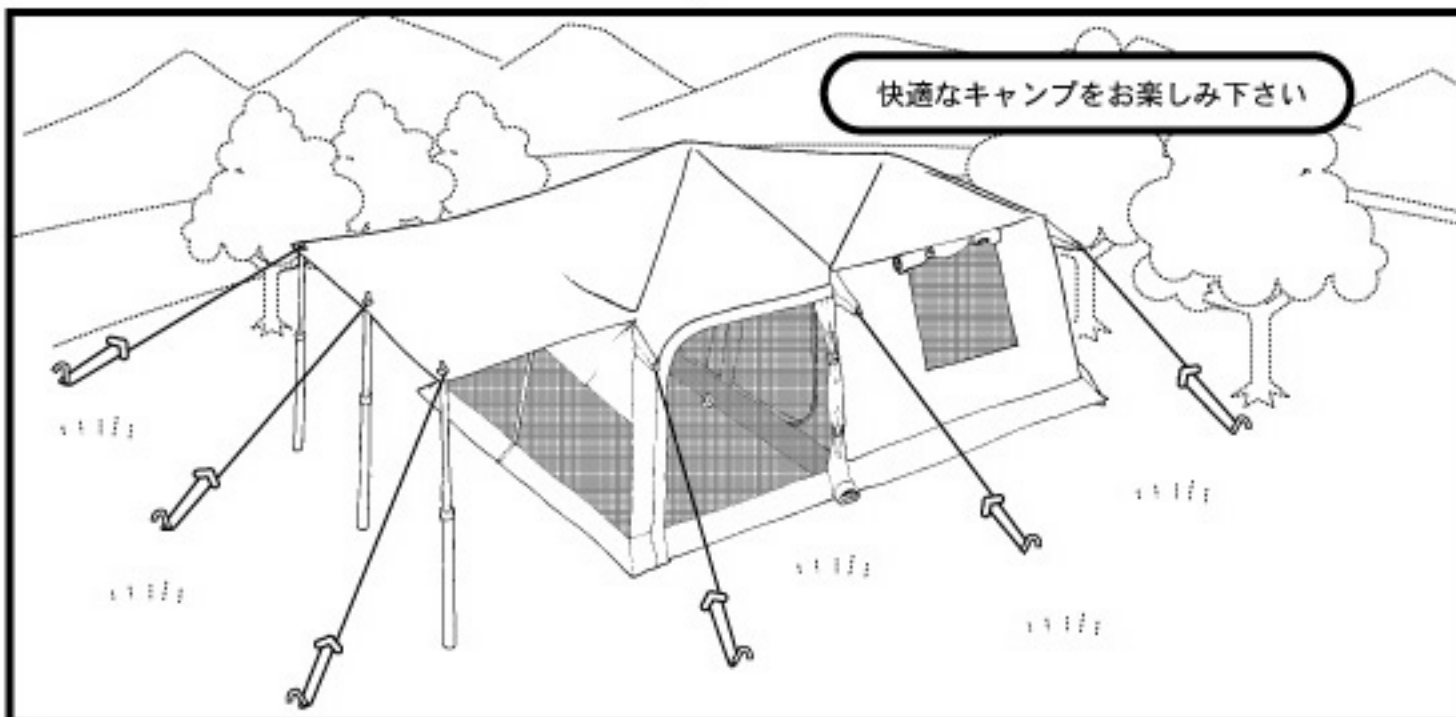
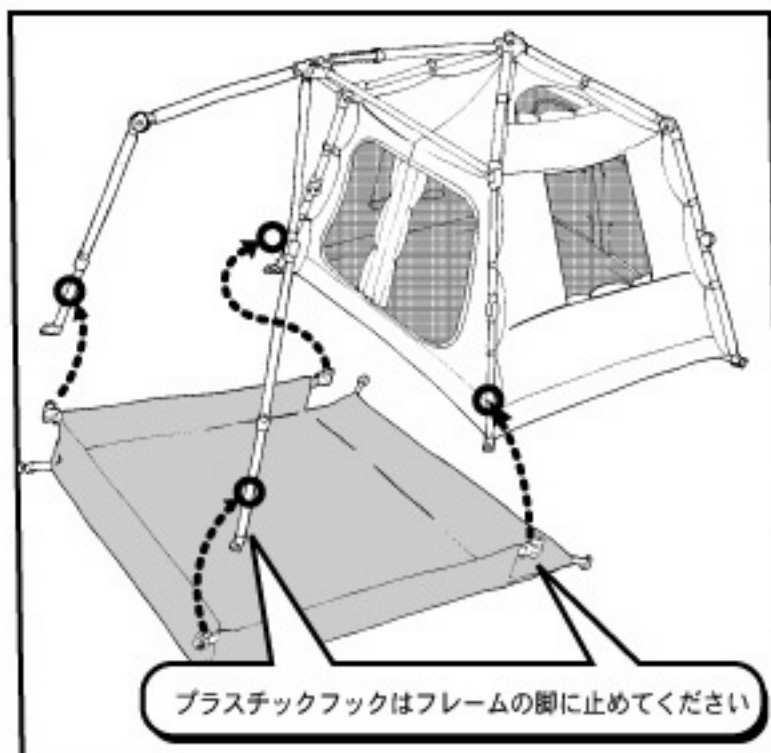
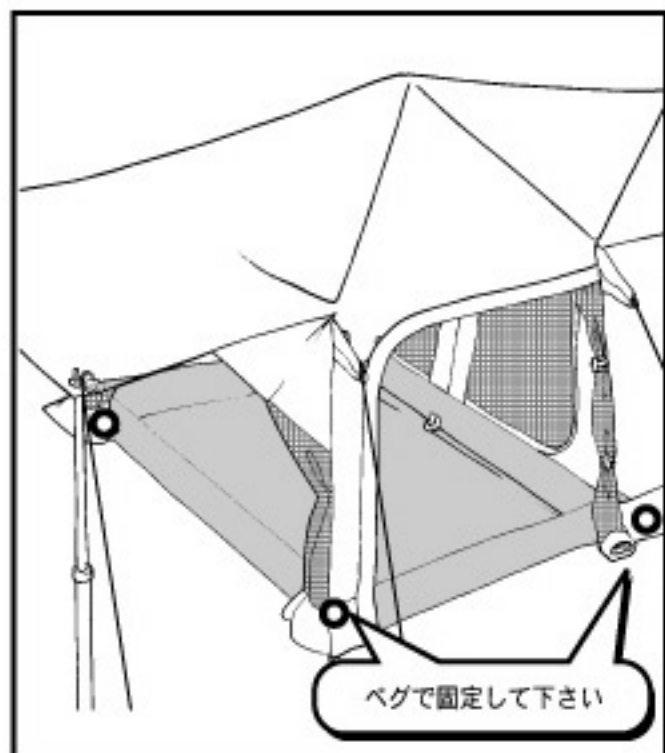
8 付属の前室用床布を取り付ければ
前室でも就寝可能になります。

後

前

インナーテントの床下に入れる

注意：雨天の際には床下を流れる雨水がここから
侵入して来るので取り外して下さい。



この度は、クロスター製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
永くお使い頂くために、下記の説明書を必ず読み、保管して下さい。

- 出発前には必ず点検をして下さい。破損したものや数の不足したものは、修理や補充をして下さい。
- 本体生地などの染色及び耐光堅牢度（色落ち、色あせ）については十分に注意はしておりますが、洗濯、水、そして汗などの多湿や直射日光などの紫外線などの諸条件により色落ち、変色、退色は避けられません。
- 強風（風速5m以上）、豪雨、積雪（2cm以上）の際は危険ですので、まず撤収して下さい。テントを過信せずに、必要な状況判断をして下さい。
- たき火、ストーブなどの近くや高温となる車のトランクに放置されますと品質、性能の低下する場合があります。
- 設営場所は指定地を選び、安全で水はけのよい平坦地に設営して下さい。
- 雨天時などのフライ内側の水滴は結露であり、雨もりとは違います。
- 本商品は、可燃繊維を使用しております。たき火、ストーブ、そして喫煙など火の近くでの使用、放置は絶対にしないで下さい。思わぬ、けがの原因となります。必ずお守り下さい。
- たたむときは、中に空気を入れないように、かたく巻いて下さい。
- 生地は、特殊防水加工をしておりますが、縫製品ですので完全ではありません。雨もり、浸水などには十分に注意し、防水スプレーなどによる二重三重の備えをして下さい。

（お手入れの注意）

- ◆ 使用後は、陰干ししてから通気性の良い場所に保管して下さい。また、専用の防水スプレーや目止め剤（マルチシーラー）などを使うと長持ちします。
- ◆ 汚れた時は、柔らかい布で軽く拭き落とし、ひどい汚れの時は、柔らかいブラシで軽くこすって落として下さい。

株式会社 **クロスター**

雷門営業本部：〒111-0034 東京都台東区雷門2丁目17番14号雷門前
TEL.03-3845-6868 FAX.03-3843-0006